

事業者向け

令和4年度放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和5年2月1日

一		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			適切である。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	1		配置数としては必要以上の配置となっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			全館バリアフリーとなっている。
	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	2		纏まった話し合いの時間は取れないものの、時間を見つけて話し合いを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			例年12月に、保護者向け評価表を用いたアンケートを実施し、改善点を協議している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			ホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4		1	今年度は実施していないが、以前行ったことがあり、資質向上の為、今後も検討していきたい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			県や社協主催の研修等に参加している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		アセスメント、個別支援計画会議を経て、適切に計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2		年1回、プロフィールの更新と共に、共通のアセスメント用紙を使用し、子どもたちの状況を図っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2		ミーティングの時間を多く割くことが出来ず、全員一緒に立案することが難しい。情報の共有を徹底していく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1		その日の担当が最近の対象児の様子を加味しながら、活動を立案している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	1	2	前年度同様、コロナの影響もあり、活動の幅は狭かった。ウィズコロナを意識し活動を検討する。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		その子その子のニーズに合わせて、計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			短時間ではあるが、支援前に必ずミーティングを行っている。足りないところはミーティングノートを活用している。

⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	1	活動記録の記入や居残り児の対応で、支援終了後の打ち合わせは難しい。記録記入時、職員同士で情報の共有を徹底していく。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			適切に行っている。

関係機関や保護者との連携関係	⑯ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			適切に行っている。
	⑰ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5			既にガイドライン内基本活動のア、イ、エを組み合わせた支援を行っている。ガイドラインの内容についての周知も行なっていきたい。
	⑯ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	5			児発管やその子をよく担当する職員が参加するようしている。
	⑰ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			送迎時に口頭で情報交換を行う他、必要に応じてケース検討会議、連携会議を行うなど、密に連携を取っている。
	⑯ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2		現在要医療ケア児の利用はないが、当事業所の看護師が、必要に応じて主治医と連絡を取る体制を構築している。
	⑯ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1		相談支援事業所に間に入つてもらい、情報共有の場を設けることがあるが、今年度はコロナの影響もあり、書面での情報提供だった。
	⑯ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5			直接事業所に提供する場合と、相談支援事業所を経由する場合がある。
	⑯ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4		1	例年、年1回の派遣研修があるが、コロナ禍の為今年度は行わず。次年度以降は再開したい。
	⑯ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			5	地域の公園で近隣の子どもたちと関わる事はあるが、活動を設定して行なうことは難しい。
	⑯ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	5			園長が参加している他、子ども部会には職員が参加している。
	⑯ 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			連絡帳への記載の他、送迎時に口頭で子どもの状況について確認している。
	⑯ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っているか	2	3		必要に応じて行なっているが、要望はあまり見られない。当事業所主催のセミナーの案内も配布している。

保護者への説明責任等	⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時や重要事項説明書の改訂時に説明しており、必要に応じて保護者の質問にもお答えしている。
	⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			職員が相談に応じる他、コロナで休止中だが、医師、心理職が相談に対応する共育相談を年10回程度開催し、保護者にも案内を出している。
	⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			5	保護者会はお互いの負担増加も踏まえ開催していないが、保護者からの要望があれば検討する。昨年度もペアレントメンター事業の茶話会を開催しており、交流の場は提供している。
	⑬ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			重要事項説明書に記載しており、苦情があった場合はすぐに情報を共有し、解決、改善に努めている。
	⑭ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			ころころだよりとして会報を年4回発行し、保護者に配布している他、玄関に掲示している。今年度は3回発行。
	⑮ 個人情報に十分注意しているか	4	1		研修等も行ない、十分に注意している。鍵付きのキャビネット等も活用し、個人情報の適切な管理を心掛けている。
	⑯ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			その子、保護者に合わせた配慮を行っている。
	⑰ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	3	以前は併設された就労事業所で、地域に開かれたイベントを行い、そのイベントに参加することがあったが、本年度もコロナの為参加せず。
	⑱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			法人全体で各種マニュアルを策定しており、事務室内に保管している。保護者へは契約時にマニュアルについてお伝えしている。
	⑲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			長期休み期間に、併設の就労事業所と合同で訓練を行う他、職員は毎月訓練を行っている。
非常時等の対応	⑳ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	2	3		法人に権利擁護委員があり、その職員が参加した研修のフィードバックを、会議等で行っている。
	㉑ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	1		車イスでの身体拘束が必要な利用者はおらず、現在は計画に記載していない。パニック時の身体拘束については、保護者に事前に説明し了解をいただいている。
	㉒ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		保護者からの情報を基に、対応している。
	㉓ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			事例について職員間で情報共有を行った後、ヒヤリハット専用のファイルに記載し、いつでも閲覧可能な状態にしている。